



病院のうごき

心を通わせ、分ちあい、前進する病院を 令和5年度入会式を挙行



令和5年度の入会式が4月1日に新棟3階講堂で行われ、医師の新採用者33名を含む74名が出席しました。新採用者の氏名が一人一人呼ばれた後、富満院長から代表者に辞令が渡されました。入会式の後の院長講話では、富満院長が研修医を含む新採用者に対し、心を通わせ、分かち合い、前進する病院をつくりたいと訴えました。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との3年間を振り返り、COVID-19を可能な限り知り、様々な場面で各自が最適と判断した感染防護策を行ってほしいと述べました。

お知らせ

皮膚科外来の診療日を増やしました

令和5年4月3日より皮膚科外来の診療日が下記の通りとなりました。

	午前	午後
月	非常勤医師 予約も可能	
火	石川医師 フットケア 完全予約制	石川医師 フットケア 完全予約制
水	非常勤医師 予約も可能	
木	石川医師 完全予約制	
金	石川医師 完全予約制	石川医師 完全予約制
土	休診	

■ 予約は予約センターで受付いたします。

TEL 0297-72-0015(直通) 月～金曜日 8:30～17:0 土曜日(第1・3) 8:30～12:30

「JAとりで通信」のアンケートにご協力をお願いします

右のQRコードからアンケートを開きお答え頂くようお願いいたします。



今月の表紙

整形外科チームスタッフです。医師、看護師、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカーと多職種で診療にあたっております。

整形外科

特集

膝関節疾患は専門医が診療

図3 前十字靱帯再建術



図4 人工膝関節置換術



膝関節の疾患としては変形性膝関節症、大腿骨頸部無菌性壊死にたいする、人工膝関節、高位脛骨骨切り術を行っています。スポーツなどによる膝靱帯損傷に対しても靱帯再建手術を行っています。スキーなどの手術件数とあります(図3・4・5)。昨年度は膝関節専門の猪野又慶医師が赴任されたため、人工膝関節置換術をはじめ、関節鏡視下の靱帯再建術、膝周囲骨切り手術などは、過去最高の手術件数となりました。

図5 高位脛骨骨切り術



専門診療のご案内

萩尾 慎二 医師 成人股関節を専門にしており、人工股関節置換術の経験が豊富です。
(図：人工股関節)

猪野又 慶 医師 膝関節を専門にしており、膝靱帯損傷にたいする関節鏡視下手術、変形性膝関節症にたいする高位脛骨骨切り手術、人工膝関節置換術の経験が豊富です。(図：前十字靱帯再建術、人工膝関節置換術、高位脛骨骨切り術)

鈴木 秀嗣 医師 手の外科を専門にしており、手根管症候群、肘部管症候群、橈骨遠位端骨折、肘関節周囲の骨折を専門にしています。

スタッフ

鈴木 康司 医師 成人股関節 (鈴木は他科にも多くいるためご注意ください)

萩尾 慎二 医師 成人股関節

猪野又 慶 医師 膝関節

青崎 裕次郎 医師 全般

関原 侑太郎 医師 全般

（非常勤）

鈴木 英嗣 医師 手の外科専門医（木曜日）

青山 広道 医師 （不定期3～4ヶ月に1回）

整形外科は運動器を診る診療科です。骨折、外傷などの救急疾患から変形性関節症、骨粗鬆症などの慢性疾患まで扱います。診察する部位も“あたま”と“おなか”以外の全身に関わります。年齢層も赤ちゃんからご高齢の方まで診察します。いわゆるな

んでもみる科ですが、当院は急性期病院と常勤スタッフが不足のため、基本的には手術が必要な方を優先させていただき、症状が落ちている方は近隣の連携病院、開業医の先生に引き継ぎ診療をお願いしている状況です。

22年間に人工股関節置換手術が570例

図2 人工股関節



当院整形外科の特徴としては上肢外傷、膝関節、股関節疾患が多いです。2022年はコロナ禍の中、年間387例の手術件数がありました(図1)。股関節周囲の手術では変形性股関節症、大腿骨頭壊死にたいする人工股関節(図2)を施行しております。但し人工関節は、手術をしないで治す保存的な治療があります。2001年8月以降、現在までの22年間での人工股関節置換術の手術件数は570例でし

た。この間に人工関節の経年的なゆるみ、転倒による骨折、脱臼などの再手術例は11例(1.9%)でした。

近年高齢化社会でもあり、いわゆる“寝たきり骨折”となる大腿骨近位部骨折は例年70～90例程度でしたが、2022年では140例とかなり増加しました。この間に人工関節の経年的なゆるみ、転倒による骨折、脱臼などの再手術例は11例(1.9%)でした。

シヨンでできる環境にあります。

図1 部位別手術件数 (2022年1月～12月)



